

## 新 着 資 料 の 紹 介

### 資 料 室

1) アゼルバイジャン共和国科学アカデミー編 (1971): 「Атлас; Грязевые вулканы Азербайджанской ССР (写真集; アゼルバイジャンの泥火山), アゼルバイジャン共和国科学アカデミー出版所, 258 p., 写真・図 443, 表 8, 文献 30, 31 × 43 cm (本文: 露文, 抄録: 英文とアゼルバイジャン文)

カラーとモノクロの多数の大型写真が美しい。ソ連の泥火山とその説明がこのようにまとめて発表されたことは珍しい。石油・天然ガスや泥火山を研究しているスペシャリストだけでなく、写真地質や構造地質の分野でも活用されることを期待したい。

### 目 次

泥火山研究史と今後の研究の基本問題

泥火山発達地域の構造地質学的特徴

泥火山発達地域の堆積岩石学的特徴

泥火山の分類

泥火山各論

沿カスピ海-クビンスク地域

Kainardzha Khydyrzyndy

アプシェロン石油-天然ガス分布地域

Bog-Boga Kirmaku Zykh Beyukdag と Kichikdag Zigil'piri Keireki Bozdag-Kobiiskii Bozdag-Gyuzdekskii Gyul'bakht Saryncha Shongar Akhtarma-Putinskaya Kushkhana Lokbatan Bibicibat Pil'pilya-Karadagskaya Torpakhly-Akhtarma Akhtarma-Karadagskaya Otman-Bozdag Buzovninskaya 海底丘 Neftyaney Kamni Gryazevaya 丘 Peschanyy 島 Makarova 堆

シマヒン-コブイスタン地域

Astrakhanka Demirchi Kyurdamir Nabur Chaikurbanchy Perekeshkyul' Maraza Boyanata-Sarydash Buransyz-Dzhul'gya Shorsulu Ilanly Kirdag Kyrkyshlak Sheitanud Matrassa Charagan Melikhobanly Kelany Nardaran-akhtarma Suleiman Cheil'akhtarma Cheil'dag Davalidag Adzhiveli Kalendarakhtarma Arzani Touragai Bol'shoi Kyanizadag Koturlyg Utal'gi Agdam Malyy Kyanizadag Dashmardan Solakhai Airantekyan Koturdag Gegerchin Delyaniz Dashgil' Bakhar Enikend Kushchi

沿クラ地域

Khamamdag Kalamadyn Akhtarma-Pashaly Bol'shoi Kharami Malyy Kharami Malyy Mishovdag Bol'shoi Mishovdag Kalmas Agzybir Byandovan Kyursangya Durovdag Neftechala Promezhtochny 山と Zayach'ya 山 バクー群島 Duvanny 島 Bulla 島 Glinyanyy 島 Los' 島 Svinoi 島 Bezmyannaya 堆 Kamen' Ignatiya 島 Oblivnoi 島 Kumani 堆 Pogorelaya 堆 Golovacheva 堆

アゼルバイジャンの泥火山活動生成物

固体噴出物 アゼルバイジャンの泥火山の固体抛出物の瀝青学的特徴 アゼルバイジャンの泥火山のガス アゼルバイジャンの泥火山の水 アゼルバイジャンの泥火山の地熱

アゼルバイジャンの泥火山噴出の周期性

アゼルバイジャンの泥火山生成機構と生成期

アゼルバイジャンの泥火山で複雑化した開発石油-天然ガス鉱床の特徴  
アゼルバイジャンの泥火山現象に関係ある中生層の石油-天然ガス胚胎構造の見通しについて  
結論

2) **A. B. Сидоренко 編 (1966, 1967, 1971)**: 「Проблемы осадочной геологии докембрия (先カンブリア系堆積地質学の諸問題)」, ネードラ出版社, 第1集: 第2集: 第3集, 27 × 18 cm (露文)

第1集 (1966) : 目次

- K. O. Kratz ほか3: カレリア地方先カンブリア系の堆積岩石学的研究法, p. 5-16, 図8  
 B. K. Golovenok: アルミナ鉱物資源・古期砂鉱の分布予測を旨としたバイカル山岳区の中部原生代粘土層・砕屑層の堆積学石学および古地理学的研究, p. 17-32, 図4, 表2, 文献20  
 A. A. Savel'ev: 東サヤン地方下部原生代デルバ層群の研究にもとづく古地理復元の試み, p. 33-40, 図5  
 M. A. Gilyarova: 古期噴出岩・火砕岩研究の試み, p. 41-53, 表1, 文献18  
 L. P. Galdobina, Ye. M. Mikhailyuk: オネガ陸向斜ジョトニア系の堆積岩石学, p. 54-60, 図6, 文献4  
 A. V. Kopeliovich, I. M. Simanovich: 沿オネガ湖地方ジョトニア系岩石の後堆積変質, p. 61-79, 図12, 表1, 文献25  
 V. Z. Negrutsa: カレリア地方珪質礫岩の相解析の試み, p. 80-97, 図9, 文献25  
 M. Dessila-Kodarcha: 南カルパチア地方中部変成岩山塊の層序と堆積相の若干の問題, p. 98-102  
 V. M. Chernov: カレリア地方火山源含鉄珪岩系と硫化鉄鉱フォーメーション, p. 103-115, 図2, 表1, 文献13  
 P. M. Goryainov: 沿イマンドロフスク地域の含鉄珪岩層系, p. 116-130, 図11, 表1, 文献33  
 S. N. Suslova: コラ半島ペチェンガ系凝灰源堆積層の堆積相に関する問題, p. 131-149, 図5, 表1  
 D. D. Mirskaya: ペチェンガ系を例とした古期火山源層の2, 3の生成条件について, p. 150-160, 表1, 文献19  
 N. I. Pinaeva: 中部カレリア地方パランドボ地区高変成火山源堆積岩 コンプレックスの地質構造-堆積構造に関する新データ, p. 161-175, 図7, 表6, 文献8  
 V. A. Sokolov, K. I. Kheiskanen: カレリア地方原生代風化殻の地質構造と堆積相構造, p. 176-185, 表4, 文献30  
 Yu. I. Lazarev: 堆積岩石学的研究における構造解析法, p. 186-194, 図1, 表1, 文献7  
 V. S. Smirnova: 始生代白海 コンプレックスの花崗岩ペグマタイトの母岩組成とその雲母生成過程に対する影響, p. 195-199, 図1, 文献6  
 V. M. Chaika: 先カンブリア系アルコース層系, 変成砂鉱床, 変成岩・花崗岩研究のジルコン法, p. 200-215, 図5, 文献42  
 A. G. Vologdin: 先カンブリア系の古生物学的研究法, p. 216-222  
 I. N. Krylov: 先カンブリア系層序に対するストロマタイトの意義, p. 223-231, 図3, 文献24  
 V. D. Mats, O. P. Yegorova: チャイ河地域砂岩・礫岩層の堆積相と層序について, p. 232-237  
 A. Ye. Miroshnikov, E. I. Musatova: ルチライト-先カンブリア系金紅石片岩と変成岩系中の金紅石の問題, p. 238-241  
 B. Dzholdoshchev: 天山地方ジェトイム・トー山脈の後期先カンブリア系堆積変成鉄鉱, p. 241-243  
 V. G. Koroler ほか3: 天山地方地向斜の上部先カンブリア系堆積層・火山源堆積層の堆積相について, p. 244-247, 文献2  
 L. P. Galdobina ほか3: 野外での転位層斜層理測定法について, p. 248-249, 図1  
 M. M. Stenar': 西カレリア地方ポリショゼロ地区の先カンブリア系変成火山源層について, p. 250-252

L. P. Bezdenzhnykh ほか 2 : カレリア地方とコラ半島の堆積変成層の相解析法によせて, p. 253-275, 図 7, 文献 67

第 2 集 (1967) : 目 次

- A. B. Sidorenko : 先カンブリア系研究の若干の問題, p. 5-13
- M. N. Dobrokhotov : ウクライナ楕状地の初期先カンブリア系の層序と地質発達初期段階, p. 14-26, 表 1, 文献 41
- Ye. K. Lazarenko : 堆積起源確認のための変成岩系研究における 2・3 の鉱物学的基準, p. 27-31, 表 1, 文献 28
- A. P. Nikol'skii : ロシア卓状地南西部の先カンブリア系の層序と超変成作用帯におけるその図化, p. 32-46, 表 2, 文献 10
- N. P. Semenenko : 変成岩のリソジェネシス復元基準としての等物理・等化学列, p. 47-61, 図 8, 表 2
- B. A. Gorlitskii, G. I. Kalyaev : 堆積条件復元基準としての先カンブリア系陸源層系中の微量元素分布, p. 62-66, 図 1, 文献 2
- Ya. N. Belevtsev : ウクライナ楕状地の変成源鉱床, p. 67-77, 図 4, 表 1, 文献 15
- A. I. Strygin, M. A. Yaroshchuk : ウクライナ楕状地の花崗岩類にみられる初成岩の示徴, p. 78-87, 図 2, 表 2, 文献 10
- A. Ya. Drevin : 堆積相-構造法にもとづく中部パプージェ地方先カンブリア系研究の試み, p. 88-96, 図 1, 文献 7
- O. B. Gintov : 地球物理的探査法による中部パプージェ地方片麻岩-ミグマタイト層の褶曲構造の解明, p. 97-102, 図 2, 表 1, 文献 3
- I. I. Shotskii : テレボ-ブークスク系の層序と堆積相の新データ, p. 103-106, 文献 3
- G. G. Kon'kov, R. M. Polunovskii : 中部沿アゾフ海地方変成岩コンプレックスの図幅と堆積相-層序研究の特色, p. 107-112, 図 2, 文献 2
- Yu. Ir. Polovinkina : ウクライナ変成岩山塊片麻岩系の層序と出発物質の復元, p. 113-118, 図 1, 表 2
- L. Ya. Khodyush : 含鉄珪岩の縞状構造の堆積岩石学的解釈, p. 120-125, 図 2, 文献 15
- D. P. Serdyuchenko : ウクライナ地方先カンブリア紀鉱床分布研究の若干の問題, p. 126-128
- V. Yu. Kondrachuk, R. I. Onishchenko : ウクライナ地方先カンブリア系岩石組成にみられる変成再沈殿風化殻の解明の前提について, p. 129-138, 図 2, 表 1, 文献 30
- T. A. Fedkova : コラ半島サーラ凍土地域ざくろ石角閃岩層類の岩石の性状に関する問題によせて, p. 139-143, 図 3, 文献 2
- O. L. Einor ほか 2 : 西沿アゾフ海地方先カンブリア系の精密地質図化の試み, p. 144-152, 図 4
- A. K. Gladkovskii, V. N. Khramtsov : クルス磁気異常地域のボーキサイト, p. 153-162, 図 3, 表 4, 文献 4
- K. F. Shcherbakova : クリボイ・ログ鉄鉱盆地南部地域の変成鉱石, p. 163-168, 図 4, 文献 4
- A. S. Drannik, I. V. Bogatskaya : 先カンブリア紀オフルーチュ噴出堆積系の層序・構造・組成の新データ, p. 169-176, 図 3, 表 1, 文献 3
- V. M. Grigor'ev : 先カンブリア系含鉄珪岩中のゲルマニウム分布の諸規則性, p. 177-178, 表 1, 文献 2
- O. M. Rozen : コクチェタフ山塊初期先カンブリア系の堆積作用の特徴, p. 179-188, 図 4, 文献 18
- V. A. Ryabenco : ウクライナ楕状地の始生代褶曲作用の特徴について, p. 189-192, 文献 12
- Yu. D. Shkovyra : 沿イングリエ地方先カンブリア系層序決定への地質構造構成と岩石化学利用の試み, p. 193-196
- V. B. Koval' : 中部パプージェ地方の先カンブリア系を例とした超変成作用帯における噴出堆積層初成態復元の諸基準, p. 197-203, 表 1, 文献 6

- E. V. Mel' nichuk, P. I. Slyn'ko : ウクライナ楯状地中央部および北東部の堆積相・変成・鉱物資源の諸問題, p. 204-210, 図1, 表1, 文献9
- A. Ya. Khatuntseva : ウクライナ楯状地最北西部の被変成・火山源層系, p. 211-216, 図2, 文献8
- A. I. Strygin, V. N. Kozar' : ウクライナ楯状地中央部の変成岩中の礫岩, p. 217-226, 表3, 文献14
- G. I. Kalyaev : ウクライナ楯状地地向斜堆積層系の変成類似体, p. 227-237, 図5, 表2, 文献8
- M. M. Veselovskaya : ロシア卓状地中央部の最古期(下部原生代-始生代)堆積岩について, p. 238-247, 図7, 文献16
- A. M. Pap : 白ロシア地方先カンブリア紀変成岩基盤の主なまとめと研究の特徴, p. 248-256, 図1, 文献22
- M. S. Tochilin : 先カンブリア紀深部変成岩と花崗岩化岩石の相的研究法, p. 257-262
- N. P. Scherbak ほか3 : ウクライナ楯状地における花崗岩化作用とマグマ作用の2作用期について, p. 263-274, 図5, 表2, 文献9
- B. I. Goroshnikov : 珪線石鉱探査のための先カンブリア紀堆積変成層の比較検討, p. 275-287, 図4, 文献15
- T. A. Lapinskaya, V. I. Danchev : ロシア卓状地東部の先カンブリア系基盤岩の自然放射能について, p. 288-295, 図3, 表1, 文献15
- A. S. Koryakin : 先カンブリア紀陸生風化殻の問題によせて, p. 296-312, 図5, 表1, 文献18
- M. I. Zheru : 中部沿ドニエストル河地域の潜頭先カンブリア系岩石の多変成作用と出発組成復元の問題, p. 313-316
- S. B. Rozanov, L. I. Filatova : 中部カザフ地方ウルタウ地域先カンブリア紀鉄鉱層系について, p. 317-321, 図3
- V. Ye Dinisenko : 東部沿アゾフ海地方オクチャーブリ・アルカリ山塊の鉱化作用の諸特徴, p. 322-331, 図3, 表4, 文献15

第3集(1971) : 目次

- K. A. Zhuk-Pochekutov : ノルム法・ニグリ計算法にもとづいた角閃岩の新しい化学的・鉱物学的分類, p. 7-31, 表5, 文献21
- O. M. Rozen ほか2 : 先カンブリア紀堆積地質学と関係ある広域変成作用の諸問題と変成岩化学分析結果の換算, p. 32-43, 図1, 表7, 文献28
- V. A. Ozhogin : コラ半島のベルフネポノイ・アルカリ花崗岩を胚胎した変成岩層の堆積岩石学的特徴, p. 44-55, 図6, 表3, 文献19
- G. L. Goroshchenko : 起源に結びつくコラ半島グラニュライト岩系岩石の鉱物学的諸特徴, p. 56-79, 図8, 表7, 文献35
- A. S. Koryakin : カレリア地方産変成岩の初成-残留成の示徴について, p. 80-98, 図6, 表3, 文献60
- R. M. Polunovskii, A. I. Belevtseva : 中部沿アゾフ海地方変成岩層の堆積岩石学的研究の諸問題, p. 99-107, 図4, 表1, 文献4
- G. I. Leont'ev : マムスク准変成岩層の周期的層序と生成作用の諸特徴, p. 108-112, 図2, 表1, 文献12
- A. A. Savel'ev, V. Ya. Khil'tova : シベリア諸地域先カンブリア系深成変成堆積岩・火山源岩中のジルコン碎屑, p. 113-119, 図3, 文献12
- A. A. Predovskii ほか4 : ペチェンガ地方地質発達史における堆積過程と火山作用の関係と特徴, p. 120-131, 図5, 表1, 文献10
- P. M. Goryainov : コラ半島角閃岩変成相岩石中の噴出岩のレリクト, p. 132-143, 図9, 文献17
- D. D. Mirskaya : ペチェンガ系火道生成体とサブボルカニック生成体, p. 144-152, 図5, 表1, 文献3

- M. A. Gilyarova : ペチェンガ地方二次性火山源層の酸性噴出岩, p. 153-169, 図4, 表2, 文献7
- V. V. Lyubtsov ほか2 : ペチェンガ地方の火山作用と炭酸塩岩の古生物学的・堆積相-地球化学的特徴, p. 170-176, 図7, 表1, 文献11
- V. A. Sokolov ほか3 : 中部カレリア地方ヤツリ一期火山岩コンプレックスの相, p. 177-191, 図5, 表5, 文献18
- V. Z. Negrutsa : バルチック楯状地東部のカレリア火山活動の諸規則性について, p. 192-206, 図4, 表1, 文献24
- V. A. Sokolov ほか4 : ヤツリ一期火山作用の堆積作用に対する影響について, p. 207-212, 表2, 文献6
- Yu. B. Bogdanov : カレリア地方の諸地質構造にみられる下部原生代火山作用の進化と堆積作用, p. 213-222, 図8, 文献21
- V. M. Chernov : カレリア地方火山源含鉄珪岩層系岩石の共存関係とその堆積条件, p. 223-243, 図10, 表1, 文献7
- A. P. Svetov, A. I. Golubev : 中部カレリア地方ヤツリ一期 (中部原生代) の火道, p. 244-252, 図5, 文献14
- V. S. Kulikov : 南東バルチック楯状地ベトレーヌイ帯の火山岩, p. 253-265, 図3, 表3, 文献10
- A. S. Pekki, T. K. Kulmala : 中部カレリア地方シュエゼロ湖地域の酸性火山源岩について, p. 266-273, 図5, 表1, 文献7
- V. I. Robonen : カレリア地方下部原生代の火山作用と硫化物鉱化作用について, p. 274-279, 図1, 文献30
- V. M. Chernov, V. Ya. Gor'kovets : カレリア地方先カンブリア系火山源含鉄珪岩層系中の元素分布の主な規則性, p. 280-297, 図4, 表3, 文献8
- V. A. Sokolov, A. P. Svetov : カレリア地方ヤツリ一期火山源層の古火山学的研究, p. 298-304, 文献15
- M. T. Kozlov : 古期火山岩層の研究法によせて, p. 305-310, 図4, 文献10
- V. A. Kostin, N. A. Kostina : ムルマンスク構造地塊先カンブリア紀岩石の後退変成における後火山性熱水作用の役割, p. 311-323, 図4, 表5, 文献16

3) **В. С. Ерофеев (1969)** : 「Геологическая история южной периферии Алтая в палеогене и неогене (アルタイ山脈南縁の古第三紀・新第三紀地質史)」, カザフ共和国ノウカ出版所, 166 p., 図28, 表7, 文献153, 26 × 17 cm (露文)

## 目次

### 第1章 アルタイ山系南縁の自然地理概説

### 第2章 古第三系・新第三系の層序

上部白亜紀風化殻    ダン階と古第三系 (セベロザイサンスク層群, ツランガ層群, ツスカバク  
スク層群, アシュタス層群)    新第三系 (アルル層群, パプロダル層群, フトルシュカ層群)  
第四系

### 第3章 アルプス期構造地質

アルタイ山系南縁新生代堆積層柱状断面の構造地質学的解釈    アルタイ山系のアルプス期地質  
構造    アルタイ山系南縁隆起区のアルプス期地質構造 (南アルタイ地域, カルバ地域, サウル  
タルバガタイ地域)    アルタイ山系南縁沈降区のアルプス期地質構造 (ザイサンスク凹地, 中  
中央凹地構造帯, 南西構造帯, チャルスカ-セミパラチンスク構造帯)    古第三系-新第三系堆積  
被覆層の断層構造の特徴と断層転位の性質    アルタイ山系アルプス期構造地質の一般的性質

### 第4章 古地理の特徴と堆積層の生成条件

セベロザイサンスク期の古地理と含水針鉄鉱-珪質層系の生成    ツランガ期の古地理と下部硫

化鉄-夾炭層系の生成 ツスカバクスク期の古地理と含鉄炭酸塩層系の生成 アシュタス期の古地理と上部硫化鉄-夾炭層系の生成 アラル期の古地理と硫酸塩-炭酸塩層系の生成 パプロダル期・フトルシユカ期の古地理と赤色炭酸塩層系の生成 アルタイ山系アルプス期構造地質系発達の方角性と其の継承性の問題

第5章 大陸堆積層系のリソジェネシス理論に対する2・3の経験的データ

まとめ

4) カザフ共和国地質省編 (1969) : 「Вулкано-плутонические формации и их рудоносность (火山岩-深成岩系とその鉱床胚胎性)」, カザフ共和国ナウカ出版社, 254 p., 27 × 18 cm (露文)

目次

- R. A. Borukaev : 開会の辞, p. 3-4  
Sh. Ye. Yesenov : 歓迎の言葉, p. 5-7  
A. A. Abdulin ほか6 : カザフ共和国にみる火山岩-深成岩系の問題, p. 8-12, 表1, 文献3  
R. A. Borukaev, Ye. Ye. Miller : 中部カザフ地方の同源マグマ岩系と火山岩-深成岩系について, p. 13-18, 文献23  
A. N. Nurlybaev : 北カザフ地方のアルカリ・マグマ作用, p. 19-27, 文献9  
A. I. Ivlev ほか3 : ツルガイ凹地バレリアノフカ安山岩質-閃緑岩質ビゼアン期-ナミュール期火山岩-深成岩系とその鉱床胚胎性, p. 28-39, 図1, 表2, 文献15  
A. Ye. Bekmukhametov : ツルガイ凹地同源マグマ岩系およびその交代作用・磁鉄鉱体との関係, p. 40-45, 文献15  
L. G. Nikitina, V. M. Shuzhanov : 中部カザフ地方デボン紀花崗岩-石英粗面岩系, p. 46-53, 図1, 表1, 文献6  
T. Ch. Cholpankulov : 東カザフ地方古生代諸火山の火道について, p. 54-74, 表1, 文献29  
V. F. Belyy : オホーツク・チュコトカ火山帯とカザフ縁部火山帯, p. 75-87, 図4, 文献21  
K. I. Dvortsova : チュー・イリー山デボン紀断層凹地の後造山期安山岩系・石英粗面岩-花崗岩系, p. 88-98, 図2, 文献14  
T. V. Perekalina ほか2 : 中部カザフ地方のヘルシニア期マグマ作用の発達と火山岩-深成岩系の区分問題, p. 99-108, 図1, 表1, 文献2  
A. V. Avdeev : アタスー・ジャムシャ分水嶺にみる噴出・貫入両マグマ作用の関係の問題, p. 109-121, 図7, 表4, 文献17  
K. A. Abdrakhmonov, Yu. I. Lyalin : 中部カザフ地方南部の後期カレドニア期とヘルシニア期の火山岩-深成岩の共存関係, p. 122-135, 図2, 表1, 文献6  
P. F. Ivankin ほか5 : ルードヌイ・アルタイ地方における火山岩生成過程と深成岩生成過程の関係について, p. 136-142, 図1, 表1, 文献6  
G. F. Chervyakovskii : ウラル地方の火山岩-深成岩系, p. 143-150, 表1, 文献14  
T. A. Dodonova : 北部天山地方の火山岩-深成岩系, p. 151-160, 図3, 表1, 文献18  
A. A. Kustarnikova : 西ウズベク地方の古生代火山岩系・火山岩-深成岩系, p. 161-166, 文献7  
V. K. Rotman, Ye. V. Bykovskaya : 環太平洋帯の火山岩-深成岩系の共存関係, p. 167-178, 図5, 表2, 文献26  
K. N. Rudich : モムスク深在断層帯の火山岩-深成岩系, p. 179-183, 文献9  
L. N. Leont'ev ほか2 : 卓状地火山岩-深成岩系の超塩基性アルカリ系と塩基性亜アルカリ系, p. 184-190, 表4, 文献13  
Ye. F. Maleev : 非削剝火山岩-深成岩系の地質図化について, p. 191-198, 図4, 文献3  
V. I. Lebedinskii : クリミア山地のマグマ作用の特徴と火山岩-深成岩系の問題, p. 199-205, 文献14

新着資料の紹介 (資料室)

- V. N. Kazmin ほか 2 : 中部ウルタウ地域中部デボン紀火山岩-深成岩コンプレックスの地球化学的特徴, p. 206-210, 図 1, 表 2, 文献 4 .
- M. A. Kasymov ほか 2 : 天山山脈北部のデボン紀火山岩-深成岩系, p. 211-213, 文献 4, 討論, p. 214-250
- A. A. Abdulin : カザフ共和国における火山学的研究の今後の発展のために, p. 250-252

5) **Л. Н. Ржаникова (1968)** : 「Палинологическая характеристика палеогена и неогена зайсанской впадины (ザイサンスク盆地古第三系・新第三系の花粉学的特徴)」, カザフ共和国ナウカ出版所, 224 p., 写真73, 図 5, 表 4, 文献113, 27 × 18 cm (露文)

目 次

第 1 章 ザイサンスク盆地地質研究史

第 2 章 層序概説

白亜-古第三系 新第三系

第 3 章 ザイサンスク盆地白亜-古第三系および新第三系花粉・孢子コンプレックスの特徴

セベロザイサンスク層群 (下部コンプレックス, 上部コンプレックス) ツランガ層群

ツスカバク層群 アシュタス層群 (下部コンプレックス, 上部コンプレックス) アルル

層群 サルイブラク層群 パプロダル層群

第 4 章 ザイサンスク盆地後期白亜紀と古第三紀, 新第三紀の古地理環境によせて

まとめ

6) **Н. И. Николаев, А. А. Наймарк 編 (1972)** : 「Новейшая тектоника, новейшие отложения и человек (新期構造地質, 新期堆積層, 人類)」, 第 3 集, モスクワ大学出版所, 278 p., 22 × 15 cm (露文)

目 次

新期構造地質

N. I. Nikolaev : 新期構造地質図編纂の原則と国際協力の課題について, p. 3-7, 文献 8

N. I. Nikolaev ほか 5 : 世界の最新構造地質図, p. 8-29, 図 2, 表 3

N. I. Nikolaev : ヨーロッパの新期構造地質とその地殻構造・火山作用・地震との関係, p. 30-34

L. M. Rastsvetaev : コペトダーク地方の新期構造地質の特徴, p. 35-70, 図 4, 文献 71

M. L. Kopp : 西コペトダーク地方キューレンダーク背斜帯とマロバルハン背斜帯の構造および新期地質発達史の比較検討, p. 71-81, 図 2, 文献 12

B. Ye. Akinin ほか 2 : 天山山脈山間盆地の新期発達状況の特徴について, p. 82-91, 図 4, 文献 22

T. P. Belousov, N. V. Chigarev : パミール高原とパミール・アライ山脈の完新世の隆起と剝削深度の関係について, p. 92-96, 図 2, 文献 9

A. A. Naimark : ソ連北東辺区の新期構造の量的特徴と新期構造地質区, p. 97-114, 図 8, 表 1, 文献 15

新期堆積層

S. A. Nesmeyanov, P. A. Arkhangel'skii : 天山山脈およびカザフ地方の大陸性上部第三系の層序の対比, p. 115-127, 図 1, 表 1, 文献 13

A. S. Birman : 東コペトダーク地方新生代モラッセ層群の構造, p. 128-138, 図 2, 文献 18

Z. V. Aleshinskaya ほか 3 : イスイククリ盆地シャルプイルダク層群の物質組成と古地理的生成条件, p. 139-146, 表 1, 文献 5

A. K. Agadzhanyan ほか 3 : ベセロ-ボズネセンスク村付近洪積統地質断面の古動物化石上の特徴,

p. 147-154, 表4, 文献9

N. S. Bolikhovskaya, O. P. Dobrodeev: ベセロ-ボズネセンスク村付近の地質断面の花粉分析・古土壌分析データによる沿アゾフ地方の洪積統の古地理, p. 155-161, 図2, 表1, 文献7

A. K. Agadzhanyan: 沿アゾフ地方・ドン河流域の早期洪積世齧歯目動物, p. 162-172, 図4, 文献14

G. I. Lazukov: 西シベリア平原各自然区洪積統の対比問題, p. 173-187, 図1, 文献19

A. K. Agadzhanyan, A. N. Motuzko: イルトイシュ渓谷の早期洪積世齧歯目動物, p. 188-195, 図2, 文献4

A. K. Agadzhanyan ほか5: ヤロスラフスク州の洪積統の交会古地理学的解析, p. 196-202, 表1, 文献4

A. A. Svitoch ほか7: プリオプスク・ステップ高原ベロボ地区地質断面研究の諸結果, p. 203-215, 図1, 文献11

#### 研究法

Ye. I. Virina ほか2: 化石土壌(埋没土壌)の感磁性, p. 216-224, 図3, 文献6

S. S. Karpukhin, N. G. Sudakova: 氷堆石中の碎屑物の総合研究の試み, p. 223-234, 図2, 表3, 文献13

A. I. Vvedenskaya: 生成期と成因の指標としての氷積層の物理的-機械的性質, p. 235-238, 文献9

M. V. Muratova ほか2: 花粉分析データによる古気候条件復元への推計学理論の適用, p. 239-246, 表4

P. A. Kaplin ほか4: 新期堆積層の最新絶対年代測定法, p. 247-258, 表1, 文献7

#### 人類

M. I. Uryson: 現代人類と化石人類の頭骨前後径要素の変異性とプロポーシオン, p. 259-276, 表4, 文献18

7) **С. М. Зверев, Ю. В. Тулина 編 (1971):** 「Глубинное Сейсмическое зондирование земной коры Сахалино-Хоккайдо-Приморской зоны (サハリン-北海道-沿海州帯地殻の深部地震探査)」, ナウカ出版所, 286 p., 図141, 表13, 文献86, 27 × 18 cm (露文)

### 目次

#### 第1章 研究作業の構成, 使用機器, 使用方法

1. 研究作業の構成
2. 研究方法
3. 使用機器
4. 測定断面の測地学的選定, 爆破点, 測定点
5. 水理観測とその測定間隔・測定深度決定への応用

#### 第2章 研究作業地域の地質・地球物理概説

1. 地質の特徴
2. 地球物理のデータ

#### 第3章 得られた資料の一般的特徴

#### 第4章 日本海

1. 断面配置
2. 観測システムと観測条件
3. 資料の一般的特徴
4. 振動波のグループ区分
5. 構成
6. 主な結果

#### 第5章 間宮海峡

1. 断面配置区域の一般情報
2. 観測システムと観測条件
3. 資料の一般的特徴
4. 振動波のグループ区分
5. 構成
6. 主な結果

#### 第6章 南サハリンと宗谷海峡(項省略)

#### 第7章 サハリン東部海岸近くのオホーツク海(項省略)

#### 第8章 サハリン-北海道-沿海州帯の深部構造の特徴

1. 地殻の主な境界
2. 地震学的境界の地質学的選択
3. 基準区分境界の形態

まとめ